

2022年4月7日

主任司祭 各位

教区本部
事務局長 末吉卓也

ウクライナ支援の募金活動に関して

+主の平安

ウクライナの方々への教区としての支援に関しては、修道院がウクライナにもあるレデンプトール宣教修道女会を通して支援する方向で検討してきました。同会の院長シスター・モニカからのご報告（別紙）を踏まえ、今回、募金による支援活動を行うこととなりました。いただいた支援金は、全額、同会に寄付します。

緊急に必要な支援と一日も早い停戦の実現に向けて、聖母マリアの汚れなきみ心の中で祈りと犠牲をささげたいと思います。

振込先は下記の通りです。

【郵便振替口座】

口座番号：02030-2-8359

加入者名：カトリック鹿児島司教区

通信欄に「ウクライナ」と明記してください。

2022年3月29日のレデンプトール宣教修道女会のドイツ本部からの情報：

本会のウクライナ管区は現在 21 人^のシスターたちと 3 人の志願者たちが、ウクライナの五か所で活躍しています：西ウクライナの Lviv 内の三か所で、Kamjanetz-Podiliskyj と Chernihiv です。Chernihiv はベラルーシの国境に近く、ロシア軍がウクライナに侵攻する道にある町ですので、その支部のシスターたちは安全のために、現在 Lviv の本部に引き上げています。5 人のシスターたちは、先日ドイツに移動して、今はオーストリア、ドイツの Bonn 市やアイルランドでウクライナからの難民の支援を行っています。

「戦争の恐ろしい現実、ときを移さず西ウクライナに近づいたようです。26 日に黒海やベラルーシから発射された三本のミサイルによって、Lviv の町が爆撃されました。一本のミサイルは、一つの支部のすぐ近くの石油タンクを大火にしまい、もう一本は軍事施設に当たってしまいました。それは、ちょうどそのときポーランドに滞在していたバイデン大統領に対する脅しだったのか？今後ウクライナの西方がもっと爆撃されるのかわかりません。

シスターたちの大半は Lviv に残り、ある人数のシスターたちは Kamjanetz-Podiliskyj にいる予定です。シスターたちは、支援を必要とされているところで手伝ったり、母親と東ウクライナから避難してきた子供たちのために集会を企画し実行したりします。シスターたちの修道院を解放して、可能な限り難民を受け入れています。

ドイツの本部では、(幸いに一人の総顧問はウクライナ人です) 各方面からいただいた寄付金で、ウクライナで大変必要とされている医療品、くすりや大切な食料品を大量に購入し、何回も送ることができています。ウクライナ国内は、どこも困難な状態です。特にインフラが全部破壊されたところで、Chernihiv (現在ほとんどロシア軍に封鎖されている) のために二個の小さい発電機を送ることができました。すくなくともごく僅かの電量を確保するためです。(発電施設が破壊され、送電が不可能になっている)

ドイツまで避難してきたウクライナ人のグループ、家族、母子のためには、ドイツのあちらこちらから住まいが提供され、優しく受け入れていただいているので、難民たちは感動し、大変ありがたく思っています・・・」。

レデンプトール宣教修道女会

Sr.Monika Erhard